

総 合 ク ラ ブ ひ ろ か わ

シルバーリフレッシュ教室を開催しました

11月6日(金)、はなやぎの里で老人クラブ主催の「シルバーリフレッシュ教室」が行われました。地域活動の充実、人々の生きがいづくり・健康づくりを目的に行われているもので、運営に総合クラブひろかわも協力。参加者29人が、リラクゼーションヨガに挑戦しました。

総合クラブひろかわでは「健康と免疫、呼吸と心の安定」のため、ヨガ教室を行っています。入会・体験を希望する人は、事務局へご連絡ください。



参加者の声

- コロナ禍の中、行事がなくなってさびしい思いをしていましたが、心も体もリフレッシュすることができました。
- 久しぶりに運動ができてすっきりしました。みなさんと一緒にできて楽しかったです。
- 体のすみずみまで生き返りました。家でもやってみたいです。
- ヨガは初めてでしたが、講師の説明がわかりやすく、楽しくできました。
- 日ごろの運動不足を実感しました。もっと体を動かしたいです。

☎総合クラブひろかわ事務局（教育委員会事務局生涯学習係内） ☎0943-32-0093

広川文芸

広川短歌会



柿の実は二個しかならず俺ひとつ残るひとつはカラスに捧ぐ 蓮子 住雄

真実がわからぬままに進みゆく総理変われど国の前途は 姫野 洋子

まだ青い金柑の実が膨らみて御節料理に並ぶを思う 中川原勝代

「真実」といふひ孫の写真添へてある退院せしと友の便りに 美座 時明

この秋の二つの台風を耐えぬいた柿の実七個小枝に熟れる 野中 勝美

手のひらに栗の実ひとつ転ばせてたまゆら浮かぶ里山の秋 野中ヨシ子

「真実の口」に初めて手を入れるあの時に似るCT検査は 高橋 和子

実権を得し菅総理お手並みを拝見します任命拒否に 鹿田 恵

民衆の真の声なり 核のなき平和な世界が実をむすぶこと 姫野 深幸

野の花を侮りし君その掌より小さき幸の実ひとつ零るる 青木佳代子

ニガウリの黄色い花が実を結びその実をもぎて今宵は天ぷら 原 千恵子

まるまると太りし栗の実四つほど新米に炊き月に供える 結束 節子

実に美しき縞目持ちたる子蜥蜴の陽に照らさるる十月の庭 山下 整子

華やける花の影にはいばら道 苦難のりこえ笑顔のわたし 横山 方子

「地域のために」各団体が課題解決に取り組む

まちづくりスタートアップ補助金

自ら地域の課題に取り組み、地域に活力を生み出そうとする団体を応援する「まちづくりスタートアップ補助金」。コロナ渦でありながらも「地域のために活動したい」という団体が本補助金を活用し、それぞれの地域課題を解決するために活動しています。

2月23日に放送されたTVQ九州「雨ニモマケズ、」より謎のスーパーカブおじさん 朝倉幸男（町田隼人さん）とがばいいえん



みそづくりワークショップ

がばいいえん VERY GOOD FARM



地域に長年伝わる知恵と味を残そうと、がばいいえんが10月17日(土)、町の施設エコーでワークショップを行いました。参加者は地元の名人に教えてもらいながら、米こうじのみそ作りに挑戦。こうじや大豆をもみこむ力と根気のいる作業に、おもしろさ大変さを感じた様子でした。昼食はみそ汁やおこわ、たけのこの煮物など、昔からある食卓の味を楽しみました。その後、畑に大根やニンジン

の種を植えた参加者。自分の手で植えた野菜の収穫を待ち望む声が聞かれました。

地域資源を活かした田園鳥獣の里づくり

里山倶楽部



里山倶楽部が10月11日(日)、東福寺散策ルートの環境整備を行いました。作業にかかった時間は約3時間。植樹基地や道ばたなど、3か所の伸びきった雑草を、11人で手分けしながら草刈り機で刈りました。長年、美しい景観保全に取り組んできた里山倶楽部。里山の整備は1日で終わるものではなく、続けて行う必要があるため「できる人ができる範囲でやる」ことを大切に活動しています。今後も森をきれいにしながら、人々の交流の場づくりを進めていくそうです。

広川町魅力発信プロジェクト

○△□（まるさんかくしかく）



10月25日(日)、広川町産業展示会館横の「まち子のおにわ」で行われた子どもたちの遊び場づくり「ハコボックス」で、○△□が、町の魅力を紹介するための写真撮影や動画作成を行いました。大人が動画を作成するだけではなく、子どもたちがインタビューしたり、遊び方を伝えたりと、子どもたち目線での動画も作成しました。できあがった動画は、YouTubeで公開予定。今後も広川町の魅力を発見しながら、発信していくそうです。

技術が身につくシャツ作り

ひろかわまちじょ project ～やってみたいをカタチに～



10月17日(土)、Kibinuで「ひろかわまちじょ project」がシャツ作り講座を行いました。初心者でも縫製工場に対応できる技術を身につけられる、ということもあり、募集時は定員を超すほどの人気ぶり。当日は「在宅ワークができるように手に職をつけたい」という子育て中の人など、計4人が集まりました。参加者は1枚のシャツが完成するまでの工程を、プロから学習。講座修了後には「今回習った技術を活かし、今度は久留米紬で洋服を作ってみよう」といった声が聞かれました。



協働で枝木伐採・課題解決

地域×九州電力送配電(株)

県道湯の原合川線沿いで10月27日(火)、小椎尾区・逆瀬谷区・梯区の地域住民や九州電力送配電(株)、協力会社など計29人が協働し、枝木を伐採しました。

道路へせり出した枝木は大雨や強風などで落下し、通行止めや停電の原因となります。今回の協働作業は、地域が抱えるこれらの課題を軽減・解決するため、昨年から行われているものです。

当日は高所作業車を使って伐採し、落下した枝木を参加者が協力して積み込み・運搬しました。地域住民からは「このような場所はほかにもたくさんあるので、来年も行いたい」といった声が聞かれました。

イモ掘りで異世代交流

智徳区サロン「遊びに憩い」

智徳区内の畑で10月24日(土)、智徳区サロン「遊びに憩い」主催のサツマイモ掘りが行われました。高齢者と子どもの異世代交流を目的に、毎年行われている智徳区のイモ掘り。6月の苗植えは、新型コロナウイルスの影響で区の役員、サロン運営委員のみで行われたものの、この日は約50人もの地域住民が参加しました。赤ちゃんから80代の高齢者までがにぎやかに作業を進め、紫芋と安納芋、紅芋の3種、計80キログラム以上が収穫されました。

参加した加賀谷一龍さん(下広川小4年)は「とても楽しかった。友達と2人で80本以上はった」と充実した時間を過ごした様子でした。



世界の平和を願う

戦没者・消防殉職者合同追悼式



広川町保健・福祉センター「はなやぎの里」で10月21日(水)、戦没者・消防殉職者合同追悼式が開催されました。今年は新型コロナウイルスの感染を防ぐため、昨年152人だった参加者を遺族や八女消防本部、町長など40人に縮小して実施。式後は自由に参拝できる時間が設けられ、恒久平和の祈念や追悼の献花が行われました。

区内をきれいに

川瀬区まちづくり委員会



川瀬区まちづくり委員会が10月25日(日)、区内の環境整備を行いました。公園花壇にはブラムジュリアンやパンジー、ノースポールなど、130もの苗を植え付け。ごみ置き場や公園の遊具は塗装し、きれいにすることができました。